

第2回 大津市庁舎整備基本計画策定懇話会 議事録（要旨）

日時：令和6年11月25日（月）

10：34～12：05

場所：新館7階特別会議室

1 開会

構成員6名出席

2 座長挨拶

3 懇話会の公開及び傍聴について

原則公開（異議なし）

傍聴人入場（10名）

4 意見交換

テーマ：公園と一体となった庁舎のあり方について

○事務局より資料説明

○意見交換

【要点】

<ゾーニング（駐車場について）>

- 駐車場については、面積が大きくならないようにし、使いやすさも考慮しながら、既存樹木を活かしたランドスケープとするなど美観上の配慮も必要となる。
- 駐車場の運用については、イベント時には新庁舎駐車場ではなく別の場所に停めてもらうことや、利用料金制の導入などの検討が必要となる。
- 駐車場の台数については、2,30年後のモビリティの変化を見据えた長期的視点で考慮する必要がある。
- 駐車場の配置については、公園全体の緑化方針などを先に設計し、その中に配置する順序で検討する必要がある。

<ゾーニング（公園との一体性について）>

- 新庁舎と一体となった防災機能の配置については、新庁舎の玄関付近の空間を活用することしか想定されていないので、新庁舎と公園全体を一体的に検討する必要がある。
- 新庁舎前広場の動線については、市民ワークショップの意見を取り入れ、新庁舎前の広場をさらに広げ、プロムナードのような動線を考慮するほうがよい。
- 大津京駅側からのアクセスについては、新庁舎と公園の連続性だけでなく、大津京駅側からの新庁舎の顔も重要なポイントとなる。

- 新庁舎と公園の連続性や一体利用については、新庁舎と多目的グラウンド、多目的グラウンドと陸上競技場との関係について慎重に検討する必要がある。
- 公園内の車路については、視覚的な分断や動線の分断が起こることから避けるべきであるが、例えば、敷地南側の市道を休日歩行者天国とするなどが考えられないか。

<新庁舎ボリュームの検討と建築計画について>

- 新庁舎のボリュームについては、山並みを阻害しないよう、建物の高さを1層でも低くするなど景観へ配慮した工夫が必要となる。
- 建築計画については、緑化計画、太陽光パネル配置、西日対策、井水利用、非常用電源などを踏まえた上で、検討する必要がある。
- 新庁舎フロアについては、30年から50年後を見据えたフレキシブルに使える空間計画が求められる。
- 市民が訪れたい新庁舎と公園の一体性については、利用者のために新庁舎の外部と内部空間の連続性を考慮し、デッキやエントランスと窓口フロアの位置を検討する必要がある。また、窓口フロアを新庁舎の2階に設置する場合、デッキは日射があると暑くなるので6ヵ月間の夏の期間を快適に過ごせる工夫が必要となる。一方で、窓口フロアを1階に持ってくることも併せて検討する必要がある。
- 新庁舎に導入する機能については、多目的・多用途に対応できるように計画・設計し、市民ワークショップの意見も取り入れること。

【意見交換】

<ゾーニング（駐車場について）>

- ・どのように駐車場の想定台数を算出しているのか。
→現在の北駐車場及び臨時駐車場合わせて268台を参考に300台を想定した。平均利用率は50%程度であるが、満車率やイベント時の利用を考慮し、現在の駐車場と同程度とした。公用車、庁舎利用者、公園利用者の割り振りは未了である。本庁舎跡地等の活用も踏まえつつ整理を進める。（事務局）
- ・イベント時は別の場所に停めてもらうなども考えてはどうか。
- ・公園に建つ庁舎となるため、大きな面積を占める駐車場は美観上の観点からも慎重に台数や配置の検討を進めていただきたい。
- ・駐車場の配置は使いやすさの点も気になる。ピロティとグラウンドが一体となって駐車場台数を満たすように考えられるといい。
景観の話にはなるが、既存樹木を活かしてランドスケープの配置ができないか。バックヤード部分の取り合いも考えないといけない。
- ・平面駐車場を大きく整備する③、④案のようなものは避けるべきではないか。利用料金など運用面でも駐車場の検討が必要。
- ・駐車場が庁舎整備敷地の大部分を占めていることは、市民WSでの市民の思いとかけ離れているのではないか。また、駐車場については、2,30年後のモビリティの変化を見据えた長期的な視点で考える必要がある。
- ・駐車場の段階的な整備や、モビリティの変化を想定したロードマップの作成など、今後の社

会情勢に対応した計画とされたい。ただし、大津で働いて子育てするには、車が必ず必要ということは、聞いている。脱クルマを言いすぎてもいけないことは共有したい。

- ・緑化方針など、公園全体を先に設計し、その中に庁舎と駐車場を配置していく順序で考える必要があるのではないか。

→駐車場のレイアウトに関してもう一度前提条件を調整し、検討を進める。(事務局)

- ・地下を免震層のみとするのか、地下駐車場とするのか、一部倉庫とするかによってゾーニングの考え方が変わってくるのではないかな。

→構造の方針については決定していないが、免震構造となることも踏まえてゾーニング検討を行っている。コスト試算については、地下の免震構造を想定している。地下免震部分を地下駐車場利用する場合、コストの見直しが必要となる。(事務局)

<ゾーニング（公園との一体性について）>

- ・防災公園としての機能をどれくらい担保できるのか。新庁舎の玄関付近でしか防災公園機能とつながる部分がないように見える。公園と庁舎が一体というコンセプトの中で防災的にもデザインに反映できるか。

→大津市の中で防災公園という位置づけが本市にはない。今回の計画と並行して公園のあり方については検討を進めていく。どのような機能を配置するかについては庁舎や公園の配置と合わせて今後具体的に検討していく予定。(事務局)

- ・公園全体に樹木を配して歩ける空間とするほうがいい。市民ワークショップの意見で庁舎前面に広場を設け、庁舎を奥にしてプロムナードのように庁舎へ誘導する空間としてはどうか。また、夏場でも樹木等で大津京側からも庁舎へ誘導できる動線ができると思う。
- ・庁舎と公園に対する連続性は市民ワークショップで意識されていた。大津京駅側からの庁舎の顔も重要なポイントとなる。

接道の観点からと思うが、公園内に車路ができており、公園における視覚的にも、動線上も連続性が途絶える。車道で分断されないように検討してほしい。

- ・新庁舎と多目的グラウンドとの1階での連続性、また多目的グラウンドと陸上競技場の連続性について慎重な検討を進めていただきたい。多目的グラウンドと陸上競技場の連続性のアイデアとして、敷地南側の市道を休日は歩行者天国とすることを提案したい。
- ・新庁舎と皇子山総合運動公園の間に車道が入ることを避け、既存園路を歩行者専用として活用することができないか。市道を新たに整備するパターンで検討できないか。

→公園内の市道のあり方は、交差点の作り方等も含め検討を進めているため、改めて結果の報告を行う。(事務局)

<庁舎ボリュームの検討と建築計画について>

- ・デッキと新庁舎の関係性によって新庁舎側のメインフロアの位置が大きく変わってくる。なぜ別途検討となったのか。

→新館デッキについては新館3階と新庁舎2階の接続となるため、職員が主に使うことを想定している。新館・新庁舎の部署配置や、コスト、京阪との敷地の関係を考慮する必要があるため別途検討としている。(事務局)

- ・大津京駅側からのデッキがあるなら、緑化するなどして公園との一体性につながるのではないか。
- ・6階となり山の景観が阻害されないよう、建物を一層でも低くする工夫が必要ではないか。
- ・比良山地から琵琶湖に流れる景観を6階の建物で分断するのは再度検討が必要。庁舎がそれをつなぐ役割を担わないといけないのではないか。風も利用できる。

駐車場については公共交通機関からのラスト1マイルをどうつないでいくかを考えることとつながる。

また、支所を活かした計画で最小限の庁舎計画にすることも考えられる。大津市の市政をどう作っていくか、将来こうあるべきということを掲げられるといい。

- ・緑化計画や太陽光パネルの配置、西日対策、井水利用、非常用電源なども含めて全体の配置計画を考えていくべき。今回の計画では、ZEB Readyではなく nearly ZEBを目指すべきではないか。
- ・庁舎や空間の使い方は、30年から50年度を考えたとき、フレキシブルに使えるよう今後の情勢の変化を踏まえ細かく段階を分けて考えるべき。
- ・公園と一体という中で、例えば子どもを連れてきた方が庁舎の外側をどう使うのか、内部の空間とどう接続するのかを考えて、デッキやエントランスと窓口フロアがどのフロアにあるべきか、具体的にシミュレーションなど使われ方を想定して計画していくべき。
- ・京阪石坂線は、大津市も力を入れているものであるので、計画の中で触れてもいいのではないか。

人口減少を見据えると庁舎に手続きに来られる方はこれから減っていくかもしれないが、その中で訪れたいくなる庁舎を公園と一体的に考えていかなければいけない。窓口フロアを2階に設けた場合には、デッキは重要な要素であるが、日射があると暑いので6ヵ月間の夏日の期間を快適に過ごせる工夫をしないと行けない。

窓口フロアを1階にもってくる検討も必要ではないか。

建物の温熱環境、風や日照などのシミュレーションを行うなど、環境的に良いものを計画されたい。

- ・庁舎内部の機能として、多目的・多用途に対応できるような案としていただきたい。
→今回例として挙げたものに加え、市民ワークショップの意見を元に新しい機能について基本計画の中でも盛り込んでいく予定。(事務局)
- ・庁舎のボリュームが山並みを阻害するという点について、意匠的な工夫が必要となる。競艇場が琵琶湖を阻害する壁、庁舎が山を阻害する壁とならないように考えてほしい。デッキと駐車場については、大津市がこれからのまちづくりをどう考えるかの思想の表明にもつながる。歩いて楽しいまちづくりを基本に掲げ、必要な人には車を利用してもらおうという考えが必要ではないか。
- ・歩くだけでなく、シェアサイクルやキックボードなどもある。歩行者と重ならないルートをとることや、ベビーカーや歩行器利用者への配慮も必要となる。

5 その他

- ・本懇話会での意見交換を踏まえ、基本計画の策定に向けた方針を整理する。
- ・今後の懇話会の開催については、年明けに個別に懇話会構成員に意見聴取を行うことで進め

ていく予定。

6 閉会

以上